事業番号	10　04　01	**事業改善シート（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事業名	**治山事業**	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
		実施期間	S29　～	E-mail	shinrin　@ pref.nagano.lg.jp

1　現状と課題

・近年、災害が激甚化、多様化、同時多発化しており、それらの災害特性を踏まえた治山対策が求められている。
・森林資源の増加に伴い流木災害が発生しており、流木発生・流出を抑制する必要がある。
・老朽した治山施設の点検・診断に基づく補修や更新、長寿命化対策の計画的な実施が不可欠となっている。

2　事業目的

山地災害を防止し、被害を最小限にとどめ、安全で安心できるくらしの実現を図る。

3　事業目的を達成するための取組

①山地災害、地すべりからの復旧のため、総合的な山地の保全対策を実施
・次年度事業の施工時期の平準化と事業効果の早期発現を図るため、債務負担行為を設定（期間：令和８～９年度、金額458,600千円）
※その他の事業は当初予算及び９月補正予算のとおり

②荒廃森林の整備や危険木除去の実施
・当初予算及び９月補正予算のとおり

③治山施設の長寿命化の促進
・当初予算及び９月補正予算のとおり

4　成果指標

（推移の凡例　↗：改善　↘：悪化　→：変化なし　―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R6年度 推移	R7年度 実績	R7年度 推移	R8年度 目標値	達成状況	目標値設定理由
①	治山事業実施箇所数	箇所	228	170	↘	171	↗	87		総合５か年計画の目標（治山事業の実施により山地災害から保全される集落数_40集落/年）を達成するために必要な実施箇所数。

5　本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進	治山事業により保全される集落数(累計)	集落	2023 (R5)	2,242	2024 (R6)	2,274	2025 (R7)	2,310	2027 (R9)	2,414

6　事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計（予算現額）	うち一般財源		
R8年度	3,047,809	3,682,086	436,411	**0**	7,166,306	403,360		53.0
R7年度	2,675,558	3,995,080	1,026,718		7,697,356	366,339	4,649,124	56.5
R6年度	2,631,950	4,241,699	784,715		7,658,364	366,569	4,982,275	61.5

事業番号	10　04　01	**細事業一覧（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事　業　名	**治山事業**	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
1	**補助公共治山**	6,830,474 千円	6,887,661 千円	予算現額 6,116,936 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	山地治山総合対策事業	直接	山地の崩壊や荒れた渓流、地すべり等の復旧対策や森林整備の実施により、荒れた森林の機能回復を図る。 （前年度からの繰越事業38箇所） 次年度事業の施工時期の平準化と事業効果の早期発現を図るため、債務負担行為を設定
			63箇所の事業実施。
2	農山漁村地域整備治山事業	直接	荒れた森林等を復旧整備することにより、水土保全機能の高度発揮を図る。 （前年度からの繰越事業10箇所）
			34箇所の事業実施。
3	災害関連緊急治山事業	直接	再度災害を防止するため、新たに発生した山地災害、なだれ、地すべりに対して、当該発生年に緊急に復旧整備を図る。 （前年度からの繰越事業２箇所）
			5箇所程度の事業実施。

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
2	**県単独公共治山**	827,890 千円	809,695 千円	予算現額 1,049,370 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	林地荒廃（災害復旧）	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事により荒廃地の復旧、応急対策を行う。 （前年度からの繰越事業34箇所、４月～8月豪雨等復旧事業29箇所）
			96箇所の事業実施。
2	治山施設リフレッシュ事業	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事により施設修繕等を行う。 （前年度からの繰越事業９箇所、４月～8月豪雨等復旧事業２箇所）
			13箇所の事業実施。
3	防災・減災学びの森整備事業	直接	治山事業の目的・効果、森林の持つ公益的機能の普及啓発を目的とした施設整備を行う。
			1箇所の事業実施。